

## 懇話会での委員の主な意見について

### 【議題：ミュージアム運営の今後の方向性】

#### （ミュージアムの運営体制）

○運営体制については、施設の目的を明確にしたうえで、それを達成するために、指定管理等も含めてどういった運営体制がベストかを考えるべき。その形は、施設ごとに異なるので、みんな一緒ということにはならない。また、市の直営であったとしても、個々の事業を民間に発注してノウハウを生かすということで館としての成果をあげることも考えられる。

#### （運営の方向性）

○広報について、その方法、対象の地域をもっと広げて、館を訪れた子どもたちの発見や感想なども発信してはどうか。

○資料の効果的な活用には、資料の持つ意味など説明を加えることが必要で、それにより、理解が深まる。これまで収集してきた資料の中には、たくさんの宝物が含まれている。

○学校との関係では、教員に訴えることはすごく大切で、教育委員会の後援という形で、夏休みに半日でも研修会等ができないかと思う。

また、企画展の図録が気軽に地域の書店で手に入ったりすれば、授業での活用につながる事が考えられる。

○ミュージアムのロケーションが素晴らしく、周りにミュージアムや図書館などが集積している。こうした施設との連携を図ることで相乗効果が生まれるのでは。例えば、ミュージアムに多くの書籍を配置することは難しいが、図書館や子ども図書館の書籍の活用を図る等。

○戦後80年を迎え、実体験を直接伝えることが難しくなっており、今後は、想像力を使って考えることが必要になる。想像できる力というものをどういうふうに伝えていくのかが課題と言え、若者たちが担い手としてクラブをつくって活動するというのは、重要な取組といえる。